

◆漁業士活用育成事業

異業種交流会

水産業改良普及センター 小澤 明子

平成20年8月21日、普及センター会議室において漁業士会主催による異業種交流会が開催された。

大学、流通・加工業者、燃油業者、飲食業者、量販店、調理師、旅行社などの様々な業種の方々と魚価の向上、観光、燃油高騰などについて意見・情報交換を行った。

1. 魚価の向上について

流通業者から「昨今は生産が減少しても魚価が向上しない。仲買も生産者の窮状は認識しているが、消費者も不景気のため厳しく、中に立つ仲買も非常に厳しい。直売店で単価の高いものを並べると物が動かず、結局安いものが売れている。」と現状の厳しさが浮きぼりとなった。

また、「本県では定期、定量の魚介類の供給は難しい。その要望に答えようとするより、今ある資源の有効活用を考えるべき（未利用なものも利用し、少量・レアを売りにする）。大量安価より、いいものを安定的に高く売ること考えるべきではないか。」などの意見があがった。

2. 観光について

旅行社からは「地域のを地域で提供することが観光客にも求められている。産物が大量、定量である必要はなく、バラエティに富んでいてもいい。いかに食材の良さを伝えるか（時期限定、調理法公開 etc）、どうアピールするかが重要」や量販店は「県外出荷をするなど売り先を変えることも必要では」とあった。

また、漁業者からも「県産水産物はあまり

知られていないので、道の駅等を活用しアピールしたい。おさかなくんのようなマスコット、魚の歌の利用もいいのでは」など多くの意見が交わされ、さまざまな業種の視点から多様な考えを聞くことができた交流会となった。



意見・情報交換を行う様々な業種の方々

交流会参加者（業者）

業種	所属	氏名
居酒屋等	トラスト	大 朝 将 嗣
会社経営	前田鶏卵	前 田 睦 己
水産団体	漁業振興基金	又 吉 俊
〃	県漁連	上 地 安 恒
石油会社	南西石油	幸 地 伸
大学教授	沖縄大学	上 田 不二夫
調理師	調理士会	
〃	沖縄都ホテル	高 嶺 貞 裕
仲買人	魚しげ	上 原 功
バイヤー	琉球ジャスコ	上 原 昭 彦
〃	〃	徳 田 亮
ライター	地域ネットワーク	与那嶺 淳
旅行会社	沖縄ツアーリスト	上 原 政 幸
〃	〃	与 儀 直 也
		斎 藤 友 明

参加漁業士

所 属	氏 名
国頭漁協	比嘉 行三（漁業士会会長）
金武漁協	玉城 幹孝（漁業士会副会長）
伊江漁協	宮里 義高
伊是名漁協	名嘉 治市
沖縄市漁協	小嶺 仁（沖縄市漁協組合長）

所 属	氏 名
糸満漁協	安谷屋 秀喜（漁業士会監事）
港川漁協	上原 清秀（漁業士会副会長）
久米島漁協	渡名喜 盛二
〃	仲与志 勇
	池田 元（漁業士会監事）
八重山漁協	

◆漁業士活用育成事業

平成20年度漁業士認定事業

水産業改良普及センター 牧野清人

1. 漁業士認定及び審査状況

漁業士制度は、地域漁業振興の中核的漁業者を育成する目的で、昭和61年度から全国一斉にスタートしています。本県も昭和61年度には6名の漁業士が認定され、これまで約70名の漁業士が誕生しましたが、病気や転職等により平成20年4月現在で43名となっております。その内訳は、名誉指導漁業士4名、指導漁業士30名、青年漁業士9名であります。平成19年度は漁業士認定審査会が平成20年12月16日に開催され、青年漁業士が1名認定されましたので紹介致します。

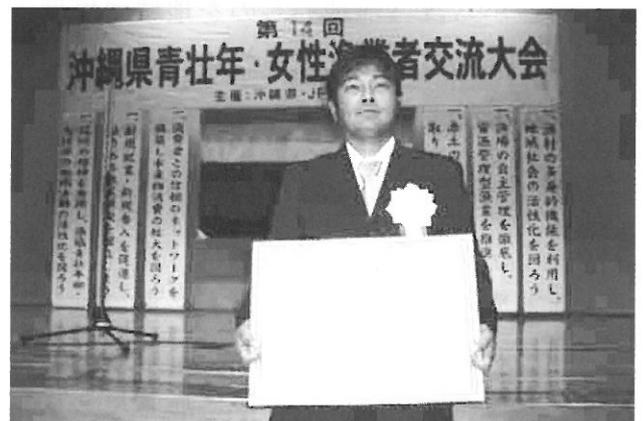
2. 平成20年度認定漁業士紹介

田端裕二 青年漁業士（久米島漁協）
昭和53年7月11日生まれ（30歳）

平成9年3月に沖縄県立久米島高校を卒業後、東京都の送電線鉄塔工事請負業に従事したあと久米島に戻り、父親等とモズク養殖並びに追い込み網漁業、一本釣り漁業、採貝、電灯潜り漁などを行ってきた。組合のモズク養殖生産部会にも所属しており、品質の良いモズクをつくるために漁協や他の生産部会員らと一致団結し、県内外の加工業者との情報交換など積極的に行っている。追い込み漁業においては仲間と共に

試行錯誤の末、網を改良し、水揚げ効率を向上させた。その他建て延縄、電灯潜り等、先輩漁業者からの指導を受けながら技術を習得し、平成18年度には久米島漁協の青壮年部長に就任、現在も地域の若い漁業者のリーダーとして活躍している。中でもモズク養殖において、培養種の保存方法や種付け方法等、県水産海洋研究センターや海洋深層水研究所、水産業改良普及センターの職員と積極的に交流し、技術向上を目指している。主な業種として11月から6月の間モズク養殖業を営む他、一本釣り、追い込み漁、電灯潜りも行っている。

平成18年度青壮年女性漁業者交流大会において「故郷の海で生きていくために」という表題で若い漁業者の活動について発表した。



第33号青年漁業士に認定された田端裕二氏